

病態病理演習（内分泌疾患） 2014MAY2（金）3・4 限M4 医学部第一病理・堤寛教授

症例 1. 30 歳女性、事務員

主訴：動悸

現病歴：

半年前より食欲亢進、発汗過多あり。抜け毛が目立つようになった。
このころより、徐々にイライラ感が強くなってきた。
2ヶ月前より、月経血量が減少（月経周期は順）、爪が脆くなった。
手指の震えが気になり、体重減少（2 kg/月）を認めた。
2週間前より動悸を自覚し、増強してきたため来院した。

既往歴：特記すべきことなし

嗜好歴：喫煙 10 本/日、飲酒なし

家族歴：母が橋本病

現症：

身長 160 cm、体重 48 kg、体温 37.2℃、脈拍 110/分、不整、血圧 130/58 mm Hg
意識清明、眼瞼結膜：貧血なし、眼球結膜：黄疸なし
顔貌、頸部の所見を「[図 1](#)」に示す。
心肺：異常なし、腹部：軟、圧痛なし、四肢：浮腫なし、腱反射：正常

検査成績：

尿検査：蛋白ー、糖ー、ビリルビンー、沈渣：異常なし
血算： WBC 5,800/ μ L、RBC 472 万/ μ L、Hb 13.2 g/dL、Ht 39.1%、血小板 22.3 万/ μ L、
生化学：TP 7.1 g/dL、Alb 4.2 g/dL、TB 0.7 mg/dL、AST 22 IU/L、ALT 16 IU/L、
ALP 481 IU/L、 γ -GT 23 IU/L、LDH 229 IU/L、CK 43 IU/L、T. chol 117 mg/dL、
TG 52 mg/dL、BUN 11 mg/dL、Cr 0.5 mg/dL、Ca 4.8 mEq/L、P 3.7 mEq/L
甲状腺検査：TSH 0.1 μ U/mL 以下（基準値 0.3～5）、FT₃ 20.0 pg/dL 以上（基準値 2～6）、
FT₄ 8.0 ng/dL 以上（基準値 0.7～2.2）、TRAb（TSH 結合阻害率） 86.1%（基準値 10%以下）、サイロイドテスト（抗サイログロブリン抗体）400 倍（基準値 100 倍以下）、ミクロソームテスト（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）25,600 倍（基準値 100 倍以下）

心電図：心房細動

胸腹部 XP：異常なし

入院後経過：

入院後、 β ブロッカー投与を開始した。
甲状腺シンチグラフィを「[図 2](#)」に示す。

参考：「[図 3](#)」（正常甲状腺、HE 染色）、「[図 4](#)」（本疾患の甲状腺、HE 染色）

症例 2. 28 歳、女性、独身、事務職

主訴：右乳房腫瘍

家族歴・既往歴：特記すべきことなし

嗜好： 飲酒・喫煙歴なし

現病歴：

8ヶ月前に右乳房のしこりに気づく。
しこりが大きくなってきたため、気になって来院した。

現症：

身長 160 cm、体重 48 kg、体格中等（肥満なし）、栄養良好、皮膚：湿潤、体温 36.5℃、脈拍 65/分整、呼吸 16/分、血圧 110/63 mmHg、眼瞼結膜：貧血なし、眼球結膜：黄疸なし、呼吸音：清、心音：純、腹部：軟、肝脾触知せず、下肢：浮腫なし、神経学的異常なし。
右乳房 AC 領域に、4 cm 大の辺縁不整、弾性硬、可動性良好な腫瘍を触知。疼痛なし。
皮膚陥凹・発赤なし。頸部・腋窩にリンパ節を触知しない。左乳房に著変なし。

検査所見：

尿検査：蛋白ー、糖ー、ビリルビンー、沈渣：異常なし
血算： 白血球 5600/ μ L（好中球 65%、リンパ球 30%、単球 4%、好酸球 1%）、
赤血球 430 万/ μ L、Hb 13.1 g/dL、Ht 40%、血小板 26 万/ μ L
生化学：TP 6.8 g/dL、Alb 4.0 g/dL、TB 0.6 mg/dL、AST 15 IU/L、ALT 12 IU/L、
ALP 430 IU/L、 γ -GT 19 IU/L、LDH 235 IU/L、CK 45 IU/L、T. chol 165 mg/dL、
TG 80 mg/dL、BUN 9 mg/dL、Cr 0.4 mg/dL、Ca 4.7 mEq/L、P 3.5 mEq/L
腫瘍マーカー：CEA 2.3 ng/mL（基準値 2.5～5.0）、CA15-3 23 ng/mL（基準値 18～30）

マンモグラフィ：「[図 1](#)」

乳房超音波撮影：「[図 2](#)」

乳腺穿刺吸引細胞診：クラス V 「[図 3](#)」

胸部エックス線、腹部超音波検査：異常なし

手術手順：

初診 2 週間後に、右非定型的乳房切除術＋乳房同時再建術施行
術中センチネルリンパ節生検：陰性のため、腋窩リンパ節廓清せず。

手術切除乳房（断面の肉眼所見）：「[図 4](#)」

乳房腫瘍の組織所見（HE 染色）：「[図 5](#)、[6](#)」（invasive ductal carcinoma, comedo type）
intraductal spreading +、lyー、vー、grade 3、ER+ 「[図 7](#)」、PgR+、HER-2：1+
乳房再建術（腹直筋皮弁術）の手術：「[図 8～11](#)」（二段階手術）